

## 第3章

### 計画の基本的な枠組み



## 第3章 計画の基本的な枠組み

### 1 基本理念と基本目標

高齢化が急速に進む中で、すべての町民がそれぞれの立場で地域に貢献し、地域に支えられ、生きていくことに喜びを感じることができる地域社会の実現が求められています。

すべての高齢者が住み慣れた地域の中で、自立した暮らしを楽しめるよう支援し、高齢者が培ってきた豊かな経験、知識、技能を存分に発揮できる環境を整え、高齢者の活力を活かした地域社会を住民と協働で実現していくための目標像を次のように定めます。

#### 基本理念

**すべての町民がそれぞれの立場で貢献し、  
地域社会に支えられ、  
生きていくことに喜びを感じる北谷町**

#### 基本目標

本計画の基本理念『すべての町民がそれぞれの立場で地域社会に貢献し、地域社会に支えられ、生きていくことに喜びを感じる北谷町』を具体化するため、高齢者を取り巻く現状と町のこれまでの取組を踏まえ以下の目標を掲げます。

- **高齢者が自立と尊厳を保てる仕組みをつくる**
- **高齢者が健康づくりを楽しむ仕組みをつくる**
- **高齢者が地域社会に参画する仕組みをつくる**

## 2 施策の体系

基本理念	基本目標	基本施策	施策の方向
すべての町民が生きていくことに喜びを感じ、地域社会に支えられ、	1 高齢者が自立と尊厳を保てる仕組みをつくる	(1)地域包括ケアシステムの推進	①地域包括ケアシステムの充実・強化
			②地域包括支援センターの機能強化
		(2)認知症対策の推進	①認知症対策の推進
		(3)互助機能の充実強化	①地域のつながりの充実
			②見守りネットワークの構築
		(4)権利擁護の推進	①制度の普及
	②高齢者虐待への対応		
	(5)安全・安心の確保	①防災・防火への取り組み	
		②交通安全対策	
		③感染症対策	
	(6)「備え」の促進	①「備え」の促進	
	2 高齢者が健康づくりを楽しむ仕組みをつくる	(1)健康づくりの推進	①健康づくりの推進
		(2)介護予防の推進	①介護予防の推進
	3 高齢者が地域社会に参画する仕組みをつくる	(1)多様な地域活動への支援	①社会資源の整備 (地域活動への参加を促すための環境整備)
		(2)地域で活動する場及び人材の確保とコーディネート	①地域で活動する場と人材の確保とマッチング
			②シルバー人材センターとの連携



### 3 施策展開の視点

#### (1) 高齢者の多様化する課題への支援

高齢化に伴い、認知症のある高齢者、なんらかの支援が必要な高齢者が増えていくことが予測されており、庁内でも、高齢化社会に対応した窓口相談や手続き方法について、検討していくことが必要となってきます。

また、複合的な課題を抱える世帯に対し、分野の枠を超え、部署横断的な取組を推進していく必要があります。

#### (2) 備える意識の啓発

自分の理想とする高齢期をイメージし、健康づくりや介護・医療が必要になったときの生活の仕方、人生の最終段階のあり方も含め、生活を自ら支える主体として、できる限り早い時期から高齢期に備えていくことが必要となってきます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、「新しい生活様式」への転換も急務となっており、ICT<sup>☆</sup>（情報通信技術）の積極的な活用も視野に入れた、新しい「備え」のかたちを確立していく必要があります。

#### (3) 自助・互助・共助・公助それぞれの機能と役割の明確化と推進

地域には、現行の仕組み（制度）では対応しきれない多様な生活課題があり、これらは、誰もが遭遇し得る課題です。安心して暮らし続けていくためにも、高齢者本人、住民同士、各地域団体、民間企業及び行政で、その課題を共有し、解決に向かう仕組みづくりが必要です。さまざまな取組に際し「自助・互助・共助・公助」の機能と役割を踏まえ、それぞれの機能を高めていく仕組みを作っていくことが必要となってきます。

#### (4) 行政の役割は、『地域の力』『民間の力』『行政の力』の3つの力を活かした『仕組み全体の調整』

行政の役割は、地域において多様なサービスが提供される仕組みを構築するため、仕組み全体を調整していくことです。地域の実情に応じた施策を地域と協働で組み立て、地域に多様なサービスが行き渡るよう、地域、民間、行政の力を相互に補い合いながら、効果的かつ効率的な施策を展開していく必要があります。

☆の付いた言葉は資料編に解説があります